



謹賀新年

皆様、明けましておめでとうございます。2021年の年頭にあたり、一言ご挨拶させていただきます。「今年はオリンピック・パラリンピック」と期待を込めた2020年は、ふたを開けてみるとコロナ禍一色となり、緊急事態宣言以降の外出自粛で人の移動が抑制され、テレワークが進み、人が集まるイベントは相次いで中止・延期となるなど、私たちの生活に大きな影響を与えました。

「感染抑制を最優先すべきか？ 経済を回すことにもっと注力すべきか？」これは新型コロナウイルス対策を議論する際に為政者が常に直面する問題でありましょう。

ただ、確実にこうした状況によってもたらされた変化は、コロナ禍が続く間だけでのものではなく、新生活様式として定着することでしょう。(ウイズコロナ)

皆様におかれましては、自分ご自身とご家族、また周囲の大切な方々(事業や会社)を守るため、お一人お一人が、新型コロナウイルスの感染防止や拡大阻止のためにできることを今一度確認して、未曾有の難局を乗り越えて頂きたいと願っています。

(マスクの着用・手洗いの励行・三密の回避)

公認会計士 黒沼 憲



昨年は事務所創立30周年を迎えることができました。皆様方の永きにわたるご支援に心より感謝申し上げます。「何事も10年単位で続けないとものにならない！」と肝に命じながら、ようやく30年継続することができました。

昨年の2月、8社の皆様と切磋琢磨して10年目を迎えた「当たり前グランプリ」は、コロナ禍の混乱の中にあっても、私達は目先のことだけにとらわれずに、この「当たり前グランプリ」で養った底力をもって前向きにいかねければと思っているところです。

皆様には令和3年が、生涯で一番意義深い年であったと振り返られるような年となりますようお祈り申し上げます。

税理士 黒沼 範子

2023年10月にインボイス制度が開始されるにあたり、様々な新しい仕組みが登場すると思われまます。多くのお客様に関係する可能性がありますので、情報収集につとめ、ご案内やサポートをしてまいります。また、弊事務所は従来よりデジタル化に積極的に取り組んでおりますが、今年も着実にすすめてまいります。

公認会計士 植村 義弘



昨年の春先より従来にないスピードで社会状況が大きく変化しています。急激な変化の時には、従来の方法に囚われず、常に「目的」と「現状の問題」を意識して活動していきます。社会の各種制度も大きく変化していくものと思っておりますので、適切に対応できるように常にアンテナを張ってまいります、本年も宜しくお願い致します。

公認会計士 大倉 然